

キャッシュレスの取組 QRコード決済の実証実験について

令和元年9月2日
会計管理局

恩賜上野動物園において、新たな決済手段としてQRコード決済の実証実験を実施

実証実験の概要

入場料収納にQRコード決済を導入し、インバウンドも含めた入場者の利便性向上と職員の事務効率化に資するかを検証するためのデータを収集するとともに、キャッシュレス化推進の機運醸成を図る

【期間】 令和元年秋(予定)～令和3年3月31日まで

【対象施設】 恩賜上野動物園
(平成30年度の利用者数 約5百万人)

【決済事業者】 (株)アプラス

【提供可能な決済サービス】
PayPay、LINEPay、Alipay、WeChatPay

【主な検証内容(予定)】
インバウンドも含めた利用実績(金額)
有効性(利用者の入場に要する時間や満足度等)

【決済イメージ】

<窓口>

<利用者>



金額伝達



QR生成

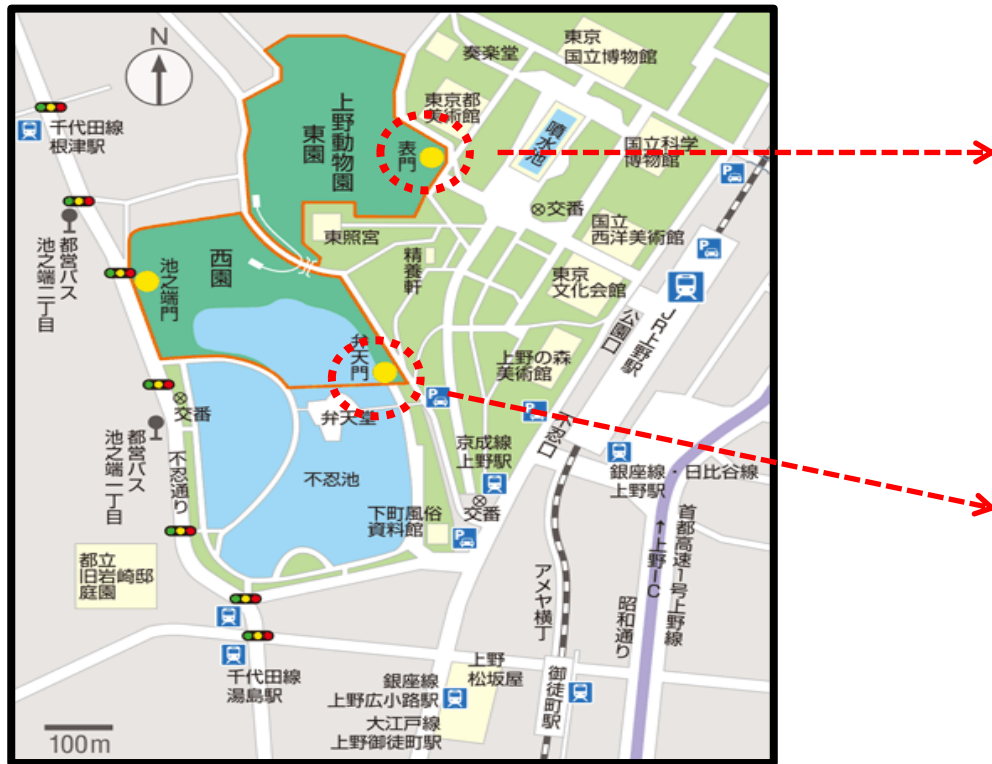


QR提示

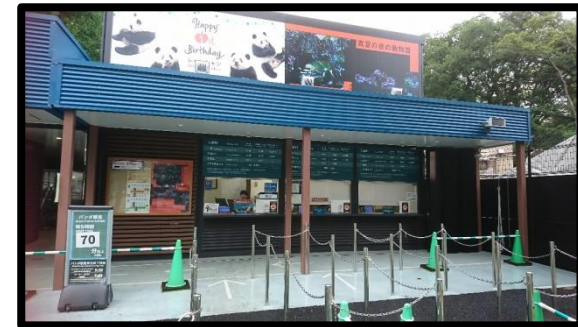
QR読み込み

実証実験の対象ゲート

「表門」及び「弁天門」の有人入場券販売窓口



表門



弁天門



スケジュール

令和元年8月

決済事業者
募集

事業者
決定

環境整備(決済端末の設置等)

広告・宣伝、操作研修等

令和元年秋(予定)

実証実験・本格導入の検討

令和2年度末

検証の上、他の都立施設等に展開